

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月11日		記入者		内線	5323
部名	監査委員事務局	課名		課長名	志藤 靖人	
事務事業名	都市監査委員会出席事業					
予算上の事務事業名	監査委員費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標						
政策名						
基本施策名						事業開始年度
施策名						昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
地方自治法						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 内部管理 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
地方自治法第199条に基づき財務事務等の監査を実施し、監査結果を講評するが、その講評にあたり判断材料となる各種情報を都市監査委員会に出席し、各市との情報交換を行うなかで時事情報を取り込み監査業務に生かしていく。				監査委員 4名		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
各監査委員会参加者数						
1 全国都市監査委員会定期総会 (8月26日～27日於神戸市)監査委員1人						
2 全国都市監査委員会事務研究会 (10月14日～15日於広島市)監査委員4人						
3 関東都市監査委員会定期総会 (5月13日於千葉市)監査委員1人						
4 神奈川県都市監査委員会定期総会 (4月27日於川崎市)監査委員1人						
5 神奈川県都市監査委員会委員研修会 (1月21日於川崎市)監査委員4人						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	291	207	288	278	278	
一般財源	291	207	288	278	278	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	68	65	66	66	66	
事業コスト合計(a)	359	272	354	344	344	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	都市監査委員会総会、研究会等出席事業			対象名称(単位)	出席者数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	359	272	354	344	344	
対象数	15	10	11	11	11	
単位あたり経費(円)	23,933	27,200	32,182	31,273	31,273	
前年度比		1.14	1.18	0.97	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	総会、研究会等出席回数		指標式と指標の説明	出席回数 / 計画回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	5.0	5.0	5.0		
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	主な監査実施回数		指標式と指標の説明	主な監査実施回数 / 監査実施計画回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	16.0	17.0	17.0		
目標	16.0	15.0	16.0	14.0	15.0
目標達成度	100.0	113.3	106.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		本市においては、ここ数年住民監査請求が提出され監査委員に対する住民ニーズや関心が高まっており、都市監査委員会の総会等への出席を継続し監査業務にかかる情報収集に努めていきたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
監査委員は独任制で、それぞれの責任において職務を執行している。従って、監査業務にかかる情報提供の機会を得るため、本事業を現状レベルで実施していく必要がある。			各監査委員会定期総会の出席者は、代表者1名のみの出席のため、出席して得た情報を監査委員全員で共有できるように配慮する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			